



羅針盤 R6 (2024) - No.7



「学期当初における指導の重点」

学校は失敗するところ！ 教室は間違えるところ！ 授業は子供が主人公！
誰一人取り残さない！ 子供の成長を教育活動の、ど真ん中におく！
One for all. All for one. One team. チーム玉川小

令和6年8月29日(木)
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

I 相談指導の充実・ストレスサインを見逃さない！

休業明けは、登校を渋る子、悩みを抱えている子、また一見、元気に過ごしている子が苦境に陥っている……可能性もある。また、家庭で暴力を受けているケースも懸念される。

子供の心の声や困りごとを察知すること。服装に乱れはないか。急な体重の増減はないか。身近な存在である我々、教師が、こうした変化の兆候を見逃さないことが大切である。

ストレス・チェック表

- 1 傷跡やあざ、やけどの跡などが見られる。
- 2 過度に緊張し、教師と視線が合わせられない。
- 3 連絡もなく欠席する。
- 4 「頭が痛い」、「お腹が痛い」、「気分が悪い」などの訴えが頻繁に見られる。
- 5 夜、「眠れない」などの訴えが見られる。
- 6 「だるい」、「疲れた」などの訴えが頻繁に見られる。
- 7 じっとしていることができず、落ち着きがない。
- 8 いつもより、よくしゃべる。
- 9 しがみついて離れない。(用事がなくても教師のそばから離れない。)
- 10 急に泣き出したり、言動が幼くなったりする。

II 休業日明けの時期等における熱中症事故防止の指導の徹底

休業日明け等の子供たちの体がまだ暑さや学校における様々な活動等に慣れていない時期は熱中症のリスクが高いことや、それほど高くない気温(25~30℃)でも湿度等その他の条件により熱中症事故が発生していることを踏まえた指導を徹底する。

III 交通事故防止の指導の徹底

秋の全国交通安全運動 9月21日(土)~30日(月)までの10日間

目的：本運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ること。

交通安全運動の目的及び、次の点から指導すること。

- ・横断歩道を渡ること、信号機のあるところでは、その信号に従うこと。
- ・歩行や自転車での飛び出しを決してしない。・歩きスマホを決してしない。

IV 2学期当初の指導方針の徹底

- 学期当初、「玉川小のやくそく」を児童と項目ごとに確認する。(目的や意味を考える)
- 学期当初、「授業のきまり」、「学習のやくそく」を児童と確認する。
- 「令和6年度 全国学力・学習状況調査における分析結果及び授業改善のポイント」に基づいた指導の充実を図る。
- 「玉小授業カスタンダード」の目標値を設定し、スタンダードに基づいた指導を図る。
- 「玉小学級カスタンダード」に基づいた指導を図る。